

「あっ晴れ！おかやま国文祭」開会式・オープニングフェスティバルについて

- 1 開催日時 平成22年10月30日（土）16：30～19：10
- 2 会 場 岡山県総合グラウンド体育館「桃太郎アリーナ」
- 3 入場整理券（無料） 入場者募集中 応募締切8月31日（火）消印有効

4 プログラム

○プロローグ

岡山県出身の詩人・永瀬清子の詩の朗読とオーケストラ、合唱団による交響詩「瀬戸内賛歌」（作詞 室山多香史 作曲 小六禮次郎）の演奏にのせて、岡山の四季、文化財、人物、芸術などを映像で紹介します。

○開会式典

文化の祭典の開幕を祝し、国歌独唱に続いて格調高く式典を執り行い、国民文化祭の開会を高らかに宣言します。

○おかやま文化ステージ「愛の雫」

あっ晴れ！おかやま国文祭のイメージソング「愛の雫」に込められた愛と勇気のメッセージをモチーフにした、岡山県の自然と文化、歴史と未来を旅する一大舞台絵巻。

岡山県出身の俳優・小山田真、叶千佳をはじめ、県内の舞踊、芸能、音楽などの文化団体から800名を超える県民が出演し、文化の祭典の開幕を飾る感動のステージを繰り広げます。オーディションで選ばれたステージ・ナビゲーター「あっ晴れ組」が舞台の進行・転換役を務めます。

◆第1幕「豊穡」

優しい雨が大地を潤す牧歌的な田園風景。雨上がりの“晴れの国”に歓びが響きわたる。ここには、自然に感謝し豊穡を祝う数々の祭りとともに、のどかで豊かな暮らしが今も息づいている。

◆第2幕「兆し」

近頃、この国にも天災や人災が頻発。怪しい嵐の予感がする。21世紀の世界が招来した不安や混迷がこの国にも押し寄せてくる。事態を解決するため、優れた先人達が時空を超えて召還され、相談がなされる。

◆第3幕「マキビ」

晴れの国の女神シズクは青年マキビを抜てきする。マキビはお供に雫の精を授けられ、嵐の主のもとへ、いざ出陣！ 風や光、波や渦に鼓舞されながら、マキビはさっそうと大海原をいく。

◆第4幕「虹」

にわかには暗雲迫り嵐が襲う。嵐の主に向かうマキビは奮闘するも危機一髪。女神シズクに「嵐はあなたの中にある。嵐をも愛せ、抱きしめよ」と諭される。やがて嵐は去り、美しい夜明け。雫の精は見事な虹に化身する。この快晴に連なる“晴れの国”へと、マキビは帰途につく・・・

○エピローグ

カーテンコールに続いて、9日間にわたる国民文化祭の事業概要を紹介。さらに会場全員による大合唱で開幕を盛り上げます。

5 出演者等

総合プロデューサー 神崎宣武 (民俗学者)	国歌独唱 伊藤宏恵 (オペラ歌手)	青年マキビ 小山田 真 (ハリウッド俳優)	女神シズク 叶 千佳 (女優)	イメージソング まきちゃんぐ (シンガーソングライター)
-----------------------------	-------------------------	-----------------------------	-----------------------	------------------------------------



■ステージ・ナビゲーター「あつ晴れ組」

次代の岡山文化を担う若者の育成を目指して、公募により新たに結成。

オープニングフェスティバルに出演するとともに、舞台の進行・転換役、他の出演者の先導役を務めます。15歳から30代の熱き情熱を持ったメンバーが、4月から岡山の歴史や文化、伝統芸能をはじめ、舞台進行や身体表現などの研修・稽古を重ねています。

■出演団体 17団体 約800名

岡山フィルハーモニック管弦楽団 (指揮：中井章徳)

岡山県合唱連盟

岡山県バレエ連盟

岡山県現代舞踊連盟

社団法人西大寺青年会議所

布施神社行事保存会

哲西町はやし田植保存会

神代郷土民謡保存会

備中神楽伝承研究会

備中温羅太鼓

倉敷市立下津井中学校

県立総社南高等学校ダンス部

県立岡山東商業高等学校吹奏楽部

くらしき作陽大学 Drum&Brass Corps "MUSICA"

岡山県合同バトンチーム

Guard Team "Soleil"

TH@nks

6 公開練習等の日時・場所(予定)

- ① 8月22日(日) 岡山国際交流センター地下1階 レセプションホール
参加者：あつ晴れ組
- ② 8月29日(日) 県立総社南高等学校体育館
参加者：小山田真、叶千佳、岡山県バレエ連盟、岡山県現代舞踊連盟
県立総社南高等学校ダンス部、備中温羅太鼓
- ③ 10月24日(日) 桃太郎アリーナ
総合リハーサル